

Adobe® Application Manager Enterprise Edition リリース 2.1

Adobe® Application Manager Enterprise Edition リリース 2.1 をご利用いただき、ありがとうございます。

- [このリリースの新機能と変更点](#)
- [サポート対象の Suite 製品 — コンポーネントと必要システム構成](#)
- [既知の問題](#)

このリリースの新機能と変更点

このリリースでは次のような拡張機能が導入されています。

- [既存のパッケージをアップデート可能](#)
- [サポート対象の Suite 製品を追加](#)
- [アップデートリストを製品名でフィルター表示](#)
- [Mac OS X 10.7 Lion と Apple Remote Desktop 3.5 Admin のサポート](#)
- [ようこそ画面とパッケージを設定画面の環境設定が保存される](#)
- [複数のディスク入力からパッケージを作成可能](#)
- [同じセッションで追加パッケージを作成可能](#)
- [Adobe Application Manager Enterprise Edition の新しいバージョンを自動的に検出](#)
- [Mac OS で、ExceptionsInfo.txt ファイルとコマンドを使用して例外ペイロードをインストールすることが可能](#)

既存のパッケージをアップデート可能

パッケージ全体をビルドし直さなくても、既存のパッケージに最新アップデートを含めることができるようになりました。例えば、2つの製品と各々のアップデートを含むパッケージがある場合は、パッケージ全体をビルドし直さなくても利用可能な最新アップデートを追加でき、既存の MSI または PKG ファイルにアップデートが追加されます。この機能により、パッケージの維持が容易になります。上の例の場合、パッケージ内の一方の製品にアッ

アップデートがあれば、既存のアップデートを新しいアップデートに置き換えるだけで済みます。新たにパッケージを作成し、維持する必要はありません。

この機能が動作する仕組みを示します。

1. 今回のリリースでは、新しいパッケージを作成すると、<パッケージ名>.aamee という名称のパッケージ設定ファイルがパッケージフォルダーに作成されます。
2. その後、このパッケージをアップデートする場合は、ようこそ画面で、既存のパッケージを変更オプションを選択します（今回のリリースから、このオプションが加わりました）。



3. メッセージに従い、手順 1 で作成したパッケージ設定ファイル (<パッケージ名>.aamee) に移動します。



4. アップデート画面が表示されたら、パッケージに含めるアップデートを選択し、「ビルド」を選択します。



注意：アップデート画面では、変更対象のパッケージに既に含まれているコンポーネントのアップデートがデフォルトで選択されています。この選択を解除することはできません。現在パッケージに含まれているコンポーネントのアップデートよりも新しいアップデートが画面に表示されている場合は、そのアップデートがパッケージ化されます。つまり、既にパッケージに含まれているコンポーネントの最新のアップデートは常にパッケージ化されます。アップデート画面では、その他のコンポーネントも選択して、追加でパッケージに含めることができます。

詳しくは、展開ガイドの「エンタープライズ展開のための Adobe Application Manager の使用」の章を参照してください。

サポート対象の Suite 製品を追加

Creative Suite 5 および 5.5 に加えて、以下の Suite を Adobe Application Manager Enterprise Edition でパッケージ化できるようになりました。

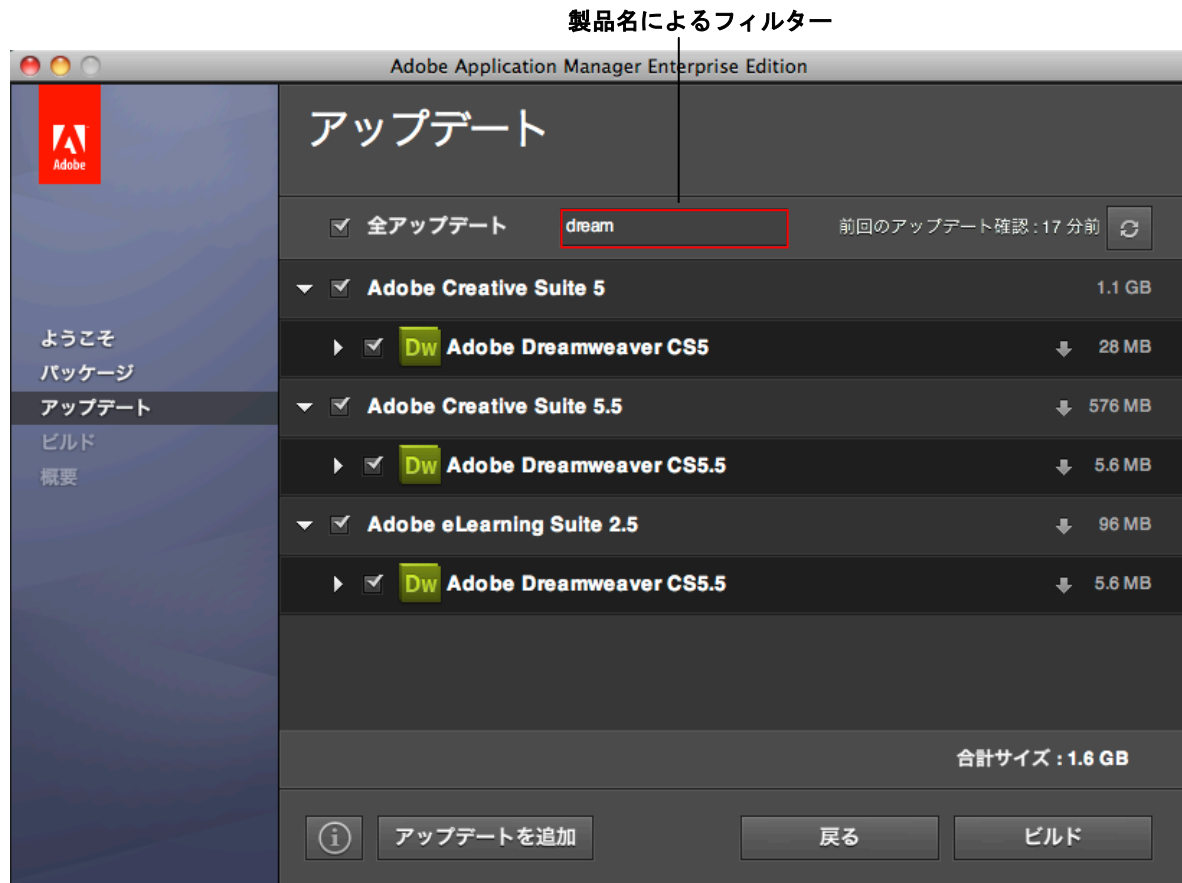
- Adobe® eLearning Suite 2.5
- Adobe® Technical Communication Suite 3.5
- Adobe® Acrobat® X Suite

注意：Adobe Application Manager Enterprise Edition での Adobe eLearning Suite 2.5 と Adobe Acrobat X Suite のサポートには一部制限があります。Adobe eLearning Suite 2.5 と Adobe Acrobat X Suite 製品のパッケージ化と展開に関する制限事項については、[既知の問題](#)の最初の 2 項目を参照してください。

Suite 製品のコンポーネントと必要システム構成の一覧については、[サポート対象の Suite 製品 — コンポーネントと必要システム構成](#)を参照してください。

使用可能なアップデートリストを製品名でフィルター表示

パッケージを作成する際に、アップデートリストを製品名でフィルター表示できるようになりました。これにより、目的の製品のアップデートのみを表示することができます。この機能を使用するには、アップデート画面の検索ボックスに製品名を入力します。複数の製品名をコンマで区切って指定することも可能です。



詳しくは、展開ガイドの「エンタープライズ展開のための Adobe Application Manager の使用」の章の「展開パッケージの作成」を参照してください。

Mac OS X 10.7 Lion と Apple Remote Desktop 3.5 Admin のサポート

今回のリリースから、Adobe Application Manager Enterprise Edition は Mac OS X 10.7 Lion と Apple Remote Desktop 3.5 Admin をサポートしています。

ようこそ画面とパッケージを設定画面の環境設定が保存される

パッケージを作成すると、ようこそ画面とパッケージを設定画面で指定したオプションが保存されます。同じコンピューターで次回新しいパッケージを作成する場合、前のパッケージを作成したときに選択したオプションが、対応するフィールドにあらかじめ入力されます。

環境設定は、AAMEEPreferences.xml ファイルに保存されます。ファイルは以下の場所にあります。

- Mac OS : ~/ライブラリ/アプリケーションサポート/Adobe/Enterprise
- Windows XP : %HOMEPATH%\¥Local Settings¥Application Data¥Adobe¥Enterprise
- Windows Vista と Windows 7 : %HOMEPATH%\¥AppData¥Local¥Adobe¥Enterprise

複数のディスク入力からパッケージを作成可能

これまでのリリースでは、複数の CD または DVD から製品のコンテンツを指定することができず、あらかじめ CD または DVD から製品インストールフォルダーにコンテンツを結合しておく必要がありました。

今回のリリースでは、複数の CD または DVD (またはそれをマウントした ISO または DMG イメージ) を使用して、製品のコンテンツを指定することができます。Adobe Application Manager Enterprise Edition が最初のディスクのコンテンツを読み取ると、次のディスクの挿入を求めるメッセージが表示されます。複数のディスクが別々のディスクドライブに挿入されている場合は、自動的に検出されます。例えば、メディア情報で別々のディスクドライブにあるディスク 1 とディスク 2 を指定すると、Adobe Application Manager Enterprise Edition は自動的に読み取り元を検出し、ディスク 1 とディスク 2 から続けてコンテンツを読み取ります。

注意：複数のディスクからの入力は、CD または DVD ディスクとそのディスクをマウントした ISO または DMG イメージでのみ有効です。データがハードディスク、ネットワークドライブ、USB ドライブなどにコピーされている場合は、これまでのリリースと同様に、製品インストールフォルダーにイメージを結合する必要があります。製品インストールフォルダーの作成について詳しくは、展開ガイドを参照してください。

同じセッションで追加パッケージを作成可能

これまでのリリースでは、パッケージが作成されると、セッションが終了しました。このため、新しいパッケージを作成するには、Adobe Application Manager Enterprise Edition を再度起動しなければなりません。今回のリリースでは、同じセッション内で既存のパッケージから複数のパッケージまたはアップデートを作成することができます。パッケージを作成した後、概要画面で「新しいパッケージ」ボタンをクリックし、ようこそ画面に戻ります。そこで、次のパッケージまたはアップデートを作成したり、既存のパッケージを変更します。



「新しいパッケージ」ボタンをクリックして、同じAAMEE セッションでパッケージの作成またはアップデートを続けます。

Adobe Application Manager Enterprise Edition の新しいバージョンを自動的に検出

Adobe Application Manager Enterprise Edition の新しいバージョンを自動的に検出できるようになりました。ダイアログボックスに新しいバージョンをダウンロードするか尋ねるメッセージが表示されます。このため、Adobe Application Manager Enterprise Edition の新しいバージョンを手動で確認する必要はありません。



Mac OS で、ExceptionsInfo.txt ファイルとコマンドを使用して例外ペイロードをインストールすることが可能

Mac OS で Exceptions フォルダ内のペイロードをインストールするためのコマンドは、Exceptions フォルダ内の ExceptionsInfo.txt ファイルにあります。Windows プラットフォーム用のファイルは前バージョンから使用可能になっています。

注意：Exceptions フォルダ内のペイロードをインストールする方法については、展開ガイドの「Exceptions フォルダ内の製品のインストール」の章と、ナレッジベースの該当する項目を参照してください。

サポート対象の Suite 製品 - コンポーネントと必要システム構成

- [Adobe® Creative Suite® 5](#)
- [Adobe® Creative Suite® 5.5](#)
- [Adobe® eLearning Suite 2.5](#)
- [Adobe® Technical Communication Suite 3.5](#)
- [Adobe® Acrobat X Suite](#)

Adobe Creative Suite 5

- Creative Suite 5 Master Collection のコンポーネント：
http://kb2.adobe.com/jp/cps/826/cpsid_82621.html#main_Creative_Suite_5_Master_Collection_components
- Creative Suite 5 Master Collection の必要システム構成：
http://kb2.adobe.com/jp/cps/826/cpsid_82621.html#main_Minimum_system_requirements

Adobe Creative Suite 5.5

- Creative Suite 5.5 Master Collection のコンポーネント：
<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/mastercollection.html>
- Creative Suite 5.5 Master Collection の必要システム構成：
<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/mastercollection/tech-specs.html>

Adobe eLearning Suite 2.5

- コンポーネント：
<http://www.adobe.com/jp/products/elearningsuite.html>
- 必要システム構成：
<http://www.adobe.com/jp/products/elearningsuite/tech-specs.html>

Adobe Technical Communication Suite 3.5

- コンポーネント：
<http://www.adobe.com/jp/products/technicalcommunicationsuite.html>
- 必要システム構成：
<http://www.adobe.com/jp/products/technicalcommunicationsuite/tech-specs.html>

Adobe Acrobat X Suite

- コンポーネント：
<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat-suite.html>
- 必要システム構成：
<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat-suite/tech-specs.html>

既知の問題

このバージョンの Adobe Application Manager Enterprise Edition の使用時に、次の問題が発生することがわかっています。

問題：（Windows のみ） Adobe eLearning Suite 2.5 または Adobe Acrobat X Suite をパッケージ化するとき、作成するパッケージに Adobe Presenter を含めることができ、含めた場合は概要画面にも表示されるが、この MSI パッケージを展開しても、Adobe Presenter は展開されず、展開時にエラーメッセージは表示されない。

回避策：ありません。 Adobe Presenter は展開できないので、 Adobe eLearning Suite 2.5 または Adobe Acrobat X Suite をパッケージ化するとき Adobe Presenter を含めないことをお勧めします。

問題：（Windows のみ）Adobe Presenter も含まれている Adobe Acrobat X Suite のパッケージを展開する場合、クライアントコンピューターに Microsoft PowerPoint がインストールされている必要がある。パッケージに Adobe Presenter が含まれていない場合、この問題は発生しない。

回避策： Adobe Presenter は展開できないので、Adobe Acrobat X Suite をパッケージ化するときに Adobe Presenter を含めないことをお勧めします。または、Adobe Presenter が含まれている Adobe Acrobat X Suite のパッケージを展開する前に、クライアントコンピューターに Microsoft PowerPoint がインストールされていることを確認します。

問題：（Mac OS のみ）Adobe Application Manager Enterprise Edition でパッケージを作成しているときに、パッケージを設定画面で「パッケージ内で無効にする AIR コンポーネント」オプションを選択した場合、Adobe Community Help や Adobe Media Player などの AIR ベースのパッケージが、パッケージに含まれない。これは、SSH ベースのインストールの実行時や、プロキシ資格情報の手動入力を回避する場合など、特定のケースで必要になる。これらのパッケージは Exceptions フォルダーにコピーされ、クライアントコンピューターに個別にインストールすることができる。

しかし、Mac OS X 10.7 Lion を実行しているクライアントコンピューターでは、クライアントコンピューターにユーザーがログインしていない場合、Exceptions フォルダー内のパッケージは SSH でインストールできない。

注意： この問題は、クライアントコンピューターが MAC OS X 10.7 Lion を実行しているときに発生します。MAC OS 10.7 Lion を実行している管理コンピューターを使用している場合は、Exceptions フォルダー内のパッケージのインストールには影響しません。

回避策： Mac OS X 10.7 Lion を実行しているクライアントコンピューターで Exceptions フォルダーから AIR ベースのパッケージをインストールする場合は、Exceptions フォルダー内のパッケージをインストールするときに、必ずクライアントコンピューターにユーザーがログインするようにしてください。

問題：（Windows のみ）Adobe Technical Communication Suite 3.5 を含むパッケージを展開する場合、Exceptions フォルダーに入った以下の製品はインストールできない（次に示す唯一の例外あり）。

- Adobe PDF Creation Add On 9 (AdobePDFCreationAddOn9_en_us)
Acrobat X には新しいバージョンが含まれているので、Acrobat X をインストールした場合は、このパッケージをインストールする必要はありません。
- Microsoft .NET Framework 3.0 (Microsoft_.NET3.0_x86)
Windows Vista 以降は必要ありません。ただし、Windows XP 32 ビットバージョン用にこのパッケージをインストールすることは可能です。

回避策：該当しません。

問題：（Mac OS のみ）Mac OS で、CS5 の Adobe Air ペイロードをインストールするためのコマンド（ExceptionInfo.txt ファイル内）に余分な引数 `silent` が付いているため、CS5 の Adobe AIR ペイロードをインストールすることができない（下のコマンドの最後に付いている赤字のテキスト）。

```
(sudo launchctl bsexec `ps auwx | grep [l]loginwindow | awk '{ print $2}'` Adobe¥ AIR¥ Installer.app/Contents/MacOS/Adobe¥ AIR¥ Installer -silent silent)
```

回避策：次のコマンドを使用してください（引数 `silent` が `-silent` パラメーターの後に付いていません）。

```
(sudo launchctl bsexec `ps auwx | grep [l]loginwindow | awk '{ print $2}'` Adobe¥ AIR¥ Installer.app/Contents/MacOS/Adobe¥ AIR¥ Installer -silent)
```

問題：eLearning Suite 2.5 に含まれる Adobe Dreamweaver を展開した後、はじめて Dreamweaver を起動すると、Extension Manager も同時に起動し、Dreamweaver CS5.5 Extension の CourseBuilder の EULA（エンドユーザー使用許諾契約書）が表示される。

回避策：ありません。

問題：はじめて Extension Manager を起動すると、認証画面が表示される。

回避策：ありません。

問題：Adobe Dreamweaver Widget ブラウザーをインストールすると、AIR ベースのアプリケーションの起動時に AIR の EULA（エンドユーザー使用許諾契約書）が表示される。

回避策：ありません。

問題：AIR コンポーネントが正常にインストールされた後にそれらのコンポーネントの再インストールを試みると、失敗することがある。

回避策：AIR コンポーネントが正常にインストールされた後は、それらのコンポーネントを再インストールしないでください。

問題：(Mac OS のみ) Apple Remote Desktop 3.5 経由でのパッケージの展開が、次のすべての条件が存在する場合に失敗する。

- パッケージ名に 2 バイト文字が含まれている。
- パッケージが「Run this task from: Task server on this computer」モードで展開されている。
- OS が Mac OS X 10.5/10.7 である。
- ターゲットコンピューターにログインしているユーザーがない。

回避策：ありません。

問題：(Mac OS のみ) 以前に Acrobat 10 をインストールし (アップデーターが有効) 実行したコンピューターでは、Acrobat のアップデーターを AAMEE によって無効にすることができない。

回避策：ありません。

問題：(Mac OS のみ) JAMF Casper Suite のスナップショット方式を使用して Adobe Acrobat 9 または Adobe Acrobat X をインストールすると、CS5 または CS5.5 パッケージのインストールが失敗する。

回避策：Acrobat X は展開用パッケージとして使用できます。したがって、ポリシー方式またはパッケージ展開用の別の Casper 対応方式で、Acrobat X を展開します。

Acrobat 9 については、Acrobat 9 をインストールした後、CS5 または CS5.5 をインストールする前に、次の方法を実行します。

1. /Library/ColorSync/Profiles にある Profiles および Recommended フォルダのバックアップを作成します。
2. 手順 1 でバックアップを作成した Profiles フォルダーと Recommended フォルダーを削除します。

3. CS5/CS5.5 パッケージをインストールします。正常にインストールが行われると、Profiles フォルダーと Recommended フォルダーのシンボリックリンクが、/Library/ColorSync/Profiles に作成されます。

注意：ケースによっては、CS5/CS5.5 パッケージの展開が失敗することがあります。そのような場合は、手順 1 で作成したバックアップを復元して、Acrobat が正しく機能することを確認してください。

問題：（Mac OS のみ）展開後に Acrobat X のインストールにアップデートが適用されると、Acrobat アップデーターの設定が失われる。

回避策：無効になっている Acrobat X を再度有効にするには、展開ガイドの「Windows での Adobe Acrobat の展開」の章の「アップデート適用後の Mac OS での機能のロック処理」で説明する手順を実行します。

問題：体験版モードでインストールした後に、Adobe Provisioning Toolkit Enterprise Edition (APTEE) でシリアル番号を登録したにもかかわらず、一部製品の初回起動時に管理者資格情報の入力を求められる。

回避策：この問題は、Adobe Encore CS5、Adobe Soundbooth CS5、Adobe After Effects CS5 および Adobe Premiere Pro CS5 で発生します。これらの製品のパッケージを作成する場合は、パッケージ作成時にシリアル番号を登録してください。

問題：（Mac OS）Adobe Help クライアントではなく既定のブラウザでヘルプが起動する。

回避策：展開後に、展開ガイドで指定されている次のコマンドを使用してシンボリックリンクを作成し、Adobe Help がターゲットコンピューター上で適切に設定されていることを確認してください。

```
ln -s /Applications/Adobe/Adobe¥ Help.app /Applications/Adobe¥ Help.app
```

問題：（Windows / Mac OS）Adobe Application Manager Enterprise Edition パッケージを使用してアンインストールしたときに、ユーザー環境設定がターゲットコンピューターから削除されない。

回避策：ユーザー環境設定を手動で削除してください。

問題：（Windows）Adobe Application Manager Enterprise Edition で作成された展開パッケージを使用しないでインストールされた、Exceptions フォルダーにある製品をアンインストールする場合に、アンインストールコマンドを利用できない。

回避策：それらのプログラムは、「プログラムの追加と削除」を使用して削除してください。

問題：（Mac OS のみ）登録と更新を無効にしたにもかかわらず、CS5.5 の Adobe After Effects、Bridge、Device Central の登録および更新メニュー項目が有効になる。

回避策：ありません。ただし、これらのアプリケーションからアップデートを起動したときに、アップデートが無効になっていることが通知されます。つまり、アップデートメニュー項目が無効になっていなくても、アップデート機能は無効になっています。

問題：（Mac OS のみ）パッケージ化する製品のいった入力メディアが破損している場合、Mac OS バージョンによって以下の問題が生じることがある。

- **Mac OS バージョン 10.1 ～ 10.6：**Mac OS エラーは表示されません。見つからないデータはスキップされ、パッケージが作成されます。その後、パッケージを展開しようとする、データが足りないため展開が失敗することがあります。
- **Mac OS バージョン 10.7：**Mac OS エラーが表示されますが、入力メディアの破損については指摘されません。

どちらの場合も、見つからないデータはスキップされ、パッケージが作成されます。その後パッケージを展開しようとする、データが足りないため展開が失敗することがあります。

回避策：正常な（破損していない）入力メディアを使用してください。

問題：（Windows / Mac OS）Adobe After Effects、Adobe Encore、Adobe Premiere Pro および Adobe Soundbooth 製品を、既にインストールされている他の Adobe Creative Suite 5 製品と異なる場所にインストールすると、実行時に問題が生じる場合がある。例えば、Adobe Creative Suite 5 のメディアから Adobe Contribute を A の場所にインストールし、Adobe Soundbooth を B の場所にインストールすると、Adobe Soundbooth の実行時に問題が生じる場合がある。

回避策：Adobe Creative Suite 5 の製品はすべて同じ場所にインストールすることをお勧めします。製品は、既定の場所にもカスタム設定の場所にもインストールできます。

問題：（Windows のみ）ディスクの入力メディアを使用して Windows マシンでパッケージを作成するときに、保存場所が Mac OS の共有フォルダーであると、パッケージの作成プロセスに失敗する。

回避策：ディスクの入力メディアを使用して Windows マシンでパッケージを作成する場合、パッケージは Mac OS 共有フォルダーには保存しないでください。

問題：（Mac OS のみ）Mac OS X 10.7 Lion で、Creative Suite 5.5 Master Collection パッケージに含めて展開した Acrobat X Pro をアンインストールしようとする、正しくアンインストールできない場合がある。

回避策：ありません。

問題：ダウンロードした2つのアップデートの名前が同じで、アドビのアップデートサーバーで使用可能なバージョンよりも古い場合、より新しいアップデートが使用できることを知らせる警告メッセージが1つのアップデートにだけ表示される。この問題は、これらのアップデートのチャンネル ID が異なる場合にも発生する。この状況は、同じパッケージ内の同じ製品の体験版と正規版の両方のアップデートのパッケージ化を試みる場合にも発生する場合がある。

回避策：ありません。

問題：（Mac OS / Windows）Mac OS で、パッケージの作成時に展開ターゲットとしてブートボリュームのルートディレクトリを指定した場合、インストーラーによってデフォルトの場所に展開される。Windows で、パッケージの構築時に展開先としてフォルダー名のないディスクを指定した場合、インストールが失敗する。エラーの説明がインストーラーログに書き込まれる。

回避策：展開先として代替りの場所を指定してください。

問題：（Windows / Mac OS）パッケージの展開中に Adobe Application Manager Enterprise Edition が実行されていると、「Some non-deployment workflow is running.Close it before continuing」というエラーメッセージが表示される。

回避策：Adobe Application Manager Enterprise Edition を終了してから、パッケージをターゲットシステムに展開してください。

問題：（Mac OS）Mac OS v10.6（Snow Leopard）で ARD 経由で展開すると、ARD タスク中にユーザーがログイン、ログアウトまたはユーザーの切り替えを行った場合に展開が失敗する。

回避策：少し待ってから、再度展開してください。

問題：（Windows / Mac OS）登録と更新を無効にしたにもかかわらず、Adobe After Effects と DeviceCentral の登録および更新メニュー項目が有効になる。

回避策：メニュー項目の表示が有効になっていても、登録または更新の操作は開始されません。

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

This guide is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the guide; and (2) any reuse or distribution of the guide contains a notice that use of the guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe Audition, Adobe Bridge, Adobe Device Central, Adobe OnLocation, Adobe Premiere, Adobe Premiere Pro, Adobe Technical Communication Suite, After Effects, Contribute, Captivate, Creative Suite, CS Live, Dreamweaver, Encore, Fireworks, Flash, Flash Builder, Flash Catalyst, FrameMaker, Illustrator, InDesign, Photoshop, RoboHelp, SiteCatalyst, and Soundbooth are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple, Mac, and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the United States and other countries. Microsoft, Windows, and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. UNIX is a registered trademark of The Open Group in the US and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.